

講座

といえよう。農林水産省においては、現在フィルダム設計基準の改訂作業が進行中であり、土質定数についても議論がなされているが、静的、動的問題のいずれも今後の研究に待たねばならない問題が多い。ここでは、筆者の私見により現段階において、実用上ほぼ満足し得ると考えられる土質定数の求め方について記述したものである。読者諸賢のご意見を頂ければ幸いです。なお、筆をおくに当たり、農業土木試験場造構第一研究室長仲野良紀氏、同研究員田中忠次氏より貴重な助言を頂いたので、ここに謝意を表します。

参考文献

- 1) 宇梶文雄(1979): フィルダム技術ノート, 日刊工業新聞社
- 2) 日本大ダム会議(1978): 第二次改訂ダム設計基準, 日本大ダム会議
- 3) 山口柏樹・大根義男(1973): フィルダムの設計および施工, 技報堂
- 4) 農林省農地局(1966): 土地改良事業計画設計基準第3部第1編フィルダム
- 5) 森 彦治・西田武三・鈴木 修(1976): フィルダム土質材料の力学試験点決定に際しての一提案, 水と土, 第26号
- 6) 河上房義監訳(1972): アースダムとアースロックダム, 森北出版
- 7) A. W. Bishop and D. S. Henkel (1962): The Measurement of Soil Properties in the Triaxial Test, Edward Arnold LTD
- 8) 例えば, 愛知県(1966): 佐布里池技術誌
- 9) 南 一良: 南原ダム, 明神ダムのコア材料, 日本大ダム会議ダム技術講演討論会テキスト
- 10) Kenneth L. Lee and Steven C. Haley (1968): Strength of Compacted Clay at High Pressure; Proc. of the A. S. C. E., SM 6
- 11) 土質工学会編 (1969): 土質試験法 (第1回改訂版)
- 12) T. William Lambe and Robert V. Whitman (1969): Soil Mechanics; John Wiley and Sons, Inc.
- 13) Department of the Army Corps of Engineers, Office of the Chief of Engineers (1970): Engineering and Design Stability of Earth and Rock-Fill Dams; Engineer Manual.
- 14) 土質工学会講座委員会 (1974~5): c と ϕ を考える, 土と基礎, Vol. 22, No. 11~Vol. 23, No. 8.
- 15) 大崎順彦(1961): 建築基礎—主としてばらつきの処理について—, 土と基礎の設計法, 土質工学会

(原稿受理 1979. 11. 26)

新刊紹介

土木施工法講座 1.

土工施工法

山村和也, 近藤 正, 上東広民著

昭和39年より「最新土木施工法講座」(全26巻)として好評を得てきた本書が、昭和50年代にふさわしく新たな構想で生まれ変わった第1巻である。ここ十数年の間に、技術はより明細化し、具体化したものが多い。その証として設計基準類の大幅な改訂がこの間になされ、昭和40年代の実績と成果が反映され、技術は再整備されつつある。

このような背景を意識して土木技術をより合理的に活用しやすくし、実務レベルでの難問を軽減・解消する意図で本書はとりまとめられている。主な内容は次のとおりである。

1章 総説(土工と土質, 土工のあゆみ), 2章 土工の調査(工事に関する調査, 土質調査の手順, 調査法, 土質試験, 土・岩の分類), 3章 土工の設計(設計の基本と理念, 切土・掘削, 盛土), 4章 施工法および作業能

力, 5章 施工計画および積算, 6章 仮設工事, 7章 準備および跡片付け, 8章 軟弱地盤とその処理, 9章 のり面保護, 10章 擁壁, 11章 仮締切, 12章 カルバート, 13章 排水工法, 14章 工事の管理, 15章 検査

近年に大改訂された道路土工指針(日本道路協会), などの主旨を踏まえた基礎的な内容であり, 最新の土工に係る事項が簡潔に記述されている。例えば, 日本統一土質分類, ベルトコンベヤーを主体とした土工, 環境対策(法規制, 土木機械の騒音・振動の実態と対策), 工事前の調査(埋蔵文化財, 環境調査), 安全施設, 安全管理——などにもふれている。

土工の全般を学ぶために良い書物であり, とりわけ機械土工の基礎的な内容が具体的に記述されている。道路・宅地造成などの土工現場に従事する方だけでなく設計に携わる技術者, 若い方にも参考となる書であろう。(島)

A 5判 376 ページ 定価 4,000 円

山海堂 文京区本郷5-5-18

電話 03-816-1611

昭和53年11月30日 発行